

令和4年度事業報告

自 令和4年4月1日
至 令和5年3月31日

公益社団法人 自彊術普及会

I 【概 要】

国内では円安・資源高による値上げラッシュ、海外ではロシアのウクライナ侵攻、台湾情勢の緊迫化、度重なる北朝鮮のミサイル発射と、先行きが見通せない令和4年度（2022年度）であった。明るいニュースでは、サッカー・ワールドカップカタール大会（11月）で日本代表が強豪国を破っての大会と、WBC（ワールドベースボールクラシック・3月）での大谷選手の投打にわたる大活躍と侍ジャパンの優勝が記憶に新しい。

コロナウイルスの猛威は続き、感染者は2,000万人を超え「オミクロン株」派生型が次々と流行した。一方、海外では水際対策や行動制限の緩和、国内でも「全数把握」の見直しや感染症法上の「5類相当」への移行議論等々、「ウィズコロナ」「アフターコロナ」に向けた動きが加速しつつある1年であった。

1. 社員総会、理事会、支部長研修会は“実開催”とリモート開催の併用

決算理事会（5月）、通常総会（6月）、予算理事会（令和5年2月）、予算総会（3月）は原則“実開催”とし、まん延防止の観点からリモート（Zoom・電話会議）や「書面による議決権行使」を併用しての開催となった。特に、感染症対策を徹底して京王プラザホテルで開催した通常総会（6月）には、106名が出席。3年間延期されていた「行事」（新支部長辞令授与・免状授与など）も実施された。正会員各位のご理解とご協力に心より感謝申し上げます。

2. 会員数の減少傾向の緩和

長引くコロナ禍の影響で、会員数は、4年連続の減少で約46,000名となった。ただし減少幅は約1,700名（4%）と大幅に縮小した。これは指導者各位の受講生との繋がりや深さ、自彊術が免疫力や自己治癒力の強化に効果が期待できること、また会員皆様にとって生活の一部として位置づけられていることが大きな理由であると考えられる。困難な状況下にもかかわらず、指導者層の世代交代や支部組織体制の強化に取り組まれている各支部長並びにそれを支える指導者各位のご努力に、心より敬意を表す。

3. 研修会等の再開

令和3年11月に再開した「本部研修会 in 熱海」は、今年度は3回すべて開催。総支部研修会・地方特別研修も続々と再開された。ワクチン接種の進展、検査・医療体制の充実等の実施環境の好転もあるが、万全の感染予防対策にご協力いただいた、会場ホテル・講師・受講生・本部職員に感謝申し上げます。

4. 私たちの務め

新たな異種ウイルスまん延の恐れ、長期化するロシアのウクライナ侵攻など不透明な時代ではあるが、こんな時期だからこそ今一度、公益社団法人としての事業目的を思い起こし、自彊術普及への更なる高みへ進みたいと考える。

「自彊術は（中略）自らの心身の健全性を維持増進せしめるのみならず、更にその普及活動を通じて、多くの人々の心身の健全な発達に寄与し、健康で豊かな社会の形成に大きな貢献をしているものと自負しております。」（「設立趣意書」より抜粋）

会 員	令和4年3月末	令和5年3月末	増 減
正 会 員	6 1 6	5 9 8	- 1 8
賛助会員	4 7, 3 4 7	4 5, 6 3 7	-1, 7 1 0
合 計	4 7, 9 6 3	4 6, 2 3 5	- 1, 7 2 8

II 【事業の内容】

公 1 普及促進事業

1. 指導講習会の実施(定款第4条第1項(1))

①感染拡大に伴う会場閉鎖や安全への配慮からの自粛を余儀なくされ、活動は制約を受けた。

しかし、感染状況には地域的な差があり、ワクチン接種、マスク着用、3密回避、検温、手指消毒、換気を心掛けた上での講習会実施の努力がなされた。

	北海道	東北	関東	中部	関西	中国・四国・九州	合計
既存教室 R3 年下期 (確定値)	62	253	2,679	616	754	397	4,761
R4 年度増減 (※速報値)	0	-3	-29	-33	-13	-7	-87
計	61	250	2,650	583	741	390	4,675

※ 各支部長申告のデータより算出しています。

② 受託講習会

コロナ禍における生徒数減少、感染防止対応などのため、各カルチャーセンターも活動休止・中止あるいは教室縮小を余儀なくされた。

2. 指導者養成及び資格・称号の授与(定款第4条第1項(2))

「自彊術」を後世に永くかつ正確に継承する為に、また安全かつ適切な指導による自彊術体操の普及を確保する為に、その原点である療法と体操を基礎から学ぶ研修会を実施し、その修練と研鑽による技量に応じて指導者資格を認定授与する。

(1) 指導者養成特別研修会(「指導者資格・称号の授与等に関する規程」第5条)

■本部研修会

「準師範等研修会」に於ける検証・確認事項を、正会員をはじめとする現役指導者及び資格取得を目指す者に直接伝える研修を行う。安全かつ適切な指導を全国的に維持・確保する重要な研修会である。

① 「本部研修会 in 熱海」

第115回	令和4年4月8日～9日 指導者 師範1名・準師範1名・奥伝3名 受講対象者 中伝取得者、中伝を目指す者47名 シニア16名 計63名
第116回	令和4年6月17日～18日 指導者 師範1名・準師範1名・奥伝3名 受講対象者 中伝取得者、中伝を目指す者51名 シニア18名 計69名
第117回	令和4年10月21日～22日 指導者 師範1名・準師範1名・奥伝3名 受講対象者 中伝取得者、中伝を目指す者44名 シニア37名 計81名

② 「シニア本部研修会 in 熱海」(68歳以上の、指導者を目指す者を対象とする。)

第16回	4月、6月、10月の本部研修会 in 熱海と同日開催とした
------	-------------------------------

今年度は、シニア(第16回)と合同で3回すべて開催。回を重ねるごとに、参加者が増加した。

③ 「本部道場研修会」

東京を中心とする首都圏の会員を対象とし、年10回を1タームとする基準をもって実施する研修会であるが、本部道場の全施設の完全消毒、ワクチン接種、マスク着用、検温、手指の消毒、換気、3密回避の徹底を図りつつ、10回すべて実施された。

■「総支部指導者養成所研修会」

各支部の中核となる指導者養成のために、総支部に於いて年10回を1タームとする基準をもって実施された。

総支部名	実 施 会 場	実施回数
東北総支部	福島市霞町 福島市市民会館	8
神奈川県総支部	本部道場	10
中部総支部	名古屋市 アイリス愛知	10
関西総支部	吹田市 さんくすホール	10
九州・中国総支部	福岡市 警固人社・西国武道館	10
九州・中国総支部	北九州市 菅原神社	10

■「地方特別研修会」

各支部の中核となる指導者養成のために各支部の要請に応じ、年1回随時実施する。

予定されていた26地域における研修会は、各地域の感染状況を慎重に判断することを基本に延期・他支部との合同開催など可能な限りの努力を重ね、22地域で開催が可能となった。

令和4年度 地方特別研修会

番号	支部名	特研開催日				場 所	実行委員長	講 師		
1	熊谷・春日部支部合同	4/19	火	～	4/20	水	第二道場	門倉久美子	花輪とも絵	
2	千葉県柏・板橋・越谷支部合同	4/26	火	～	4/27	水	第二道場	久保田元子	小倉恵子	
3	富士北麓支部	5/16	月	～	5/17	火	宝鏡寺空手道場	新田孝子	佐藤美枝子	
4	静岡葵支部	5/21	土	～	5/22	日	函南町平井公民館	松井陽子	加藤由美子	佐藤弘子
5	大阪府支部	5/28	土	～	5/29	日	パナソニックリゾート大阪	綿田美枝子	三上博子	宮澤真己子
6	千葉県成田支部	5/31	火	～	6/1	水	本部道場	長岡勝美	白須清子	加納幸子
7	東北総支部合同 (福島・山形県・茨城県・宮城県北)	6/5	日	～	6/6	月	国民宿舎鶴の岬	久保春江	大久保眞治子	劔早百合
8	千葉県稲毛・練馬・立川朝日・東松山・大宮南・春日部北支部合同	6/21	火	～	6/22	水	本部道場	藤井靖子	白須清子	伊倉まゆみ
9	わかやま県・奈良県・大阪東支部合同	6/25	土	～	6/26	日	パナソニックリゾート大阪	久坂久代	佐野典子	小倉眞理子
10	北海道支部	6/26	日	～	6/27	月	ANAクラウンプラザホテル札幌	玉置百合子	齋藤節子	
11	大宮支部・立川支部	6/28	火	～	6/29	水	本部道場	佐藤美枝子	松井陽子	宮澤真己子
12	東京北支部	7/2	土	～	7/3	日	本部道場	堤恭子	高原恵子	鈴木玲子 石田幸子
13	横須賀・横須賀南支部合同	7/2	土	～	7/3	日	かながわ平和祈念館	鎌上恭子	江波戸光子	結城献子
14	兵庫県支部	7/2	土	～	7/3	日	ホテル北野プラザ六甲荘	四本多美子	三上博子	大久保眞治子
15	横浜朝日・神奈川南・神奈川ふじさわ・湘南支部合同	7/22	金	～	7/23	土	かながわ平和祈念館	吉田裕子	猪狩正子	小倉眞理子
16	豊橋・静岡県・豊川支部合同	7/23	土	～	7/24	日	ロワジュールホテル豊橋	富田節代	朝倉淑美	鳴尾桂子
17	九州・中国総支部合同 (福岡・北九州・南九州・福岡南・岡山)	8/31	水	～	9/1	木	菅原会館	瓜生光代	富田節代	佐藤弘子
18	川越・千葉県・新宿朝日・春日部南支部合同	9/6	火	～	9/7	水	本部道場	白須清子	鎌上恭子	加納幸子
19	京都府・滋賀県・京都洛中支部合同	9/10	土	～	9/11	日	パナソニックリゾート大阪	高橋典子	佐藤美枝子	劔早百合
20	むさし野・小平支部合同	9/27	火	～	9/28	水	本部道場	長谷川美千代	三上博子	内田利子
21	横浜支部	11/1	火	～	11/2	水	本部道場	石野洋子	猪狩正子	角田由美子
22	名古屋・名古屋中支部合同	11/5	土	～	11/6	日	アイリス愛知	石原久美子	小倉恵子	花輪とも絵

(2) 上級指導者研修会（「指導者資格・称号の授与等に関する規程」第6条）

奥伝資格以上の指導者を対象とし、その指導技術、徳育(自彊術の精神)の更なる涵養を図り、後進指導者を養成する能力を養うと同時に、自彊術体操を日本の一文化として後世に伝承する気概を持つ人材を育成することを目的とする。

① 準師範等研修会（31 動・療法についての技術、指導法、その他、指導上の要点の検証及び確認をし、その結果を指導者養成特別研修会における研修に反映させることにより、指導の全国的統一性、均質性を維持・確保することを目的とする。）

箱根湯本:令和4年11月14～15日 奥伝会と同日開催した。

② 奥伝研修会

(i) 選抜奥伝研修会(将来、指導者養成特別研修会の講師となる者を養成することを目的とし、その候補者約30名は本部が選出する。)

本部道場において令和4年4月12日、10月4日に予定されていたが、中止とした。

(ii) 奥伝会(広く奥伝資格者を対象とする。)

箱根湯本:令和4年11月14～15日 師範2名、準師範16名、奥伝55名

③ 支部長研修会

本部道場において令和4年4月12日、10月4日に予定されていたが、文書連絡を中心にリモート会議で開催した。

(3) 資格・称号の授与(定款第4条第1項(2))

免 状	年 度	月	人 数	小 計
初 伝	令和4年	4月	81名	
		7月	54名	
		10月	67名	
	令和5年	1月	111名	313名
中 伝	令和4年	8月	94名	94名
奥 伝	令和4年	6月	9名	9名
準師範	令和4年	6月	3名	3名
師範	令和4年	6月	0名	0名

地方区分別免状取得者分布は、下記のごとくとなった。

	北海道	東北	関東	中部	関西	中国四国 九州	合計
初伝	1	9	205	43	43	12	313
中伝	1	6	54	10	17	6	94
奥伝	0	0	5	0	3	1	9
準師範	0	0	2	0	1	0	3
師範	0	0	0	0	0	0	0

公 2 普及啓発事業

1. 自彊術に関する調査研究(定款第4条第1項(3))

自彊術受講者を対象に毎年実施されていた健康度測定調査(体力測定)及びパルスオキシメーターによる自彊術実施前後の「血中酸素飽和度変化」の継続的調査は感染を避けるため中止とした。

2. 自彊術に関する刊行物等の発行(定款第4条第1項(3))

(1) 機関紙「自彊の友」の発行

565,984部の発行となった。

令和4年度各号の主な記事は次の通りである。

「自彊術の先生になった友へのインタビュー」「我がクラスの自慢したい先輩」「各種体験談」等の定番記事に加えて、コロナ禍にあっても万全の感染防止対策を施して実施された本部や各支部の活動や「先人の言葉」「メモリアルレクチャー」等々、多くの方々から記事をお寄せいただき、自彊術の普及啓発と会員相互の絆を深めることに役立てた。

4月号(554号)

- ・わかやま県支部地方特別研修会
- ・～先人の言葉～中井房五郎先生の言葉③
- ・令和4年度予算総会報告

5月号(555号)

- ・コロナ禍での四十周年(千葉県支部)
- ・初伝免状 令和4年4月1日附(81名)
- ・第115回本部研修会・第16回シニア本部研修会 in 熱海
- ・～先人の言葉～中井房五郎先生の言葉④
- ・災害対応募金活動のお礼とご報告

6月号(556号)

- ・～温故知新～恩師・中井勝先生との出会い
- ・～先人の言葉～中井房五郎先生の言葉⑤
- ・近藤幸世前会長の話

7月号(557号)

- ・公益社団法人自彊術普及会 第12回通常総会
- ・令和3年度 正味財産増減計算書
- ・～先人の言葉～中井房五郎先生の言葉⑥

8月号(558号)

- ・湘南支部たより
- ・初伝免状 令和4年7月1日附(54名)
- ・なつかしの近藤芳朗記念館へ
- ・～先人の言葉～中井勝先生語録

9月号(559号)

- ・心一つになった記念式典(豊川支部)
- ・中伝免状 令和4年8月15日附(94名)
- ・生命にかかわる事態①(近藤芳朗先生メモリアルレクチャー)

10月号(560号)

- ・ガイアシンフォニー「地球交響曲」自主上映会(中部総支部)
- ・生命にかかわる事態②(近藤芳朗先生メモリアルレクチャー)

11月号(561号)

- ・大阪府支部地方特別研修会
- ・初伝免状 令和4年10月1日附(67名)

12月号(562号)

- ・山形県支部20周年記念
- ・第117回本部研修会・第16回シニア本部研修会 in 熱海

1月号(563号)

- ・謹賀新年
- ・上手な医療のかかり方(理事 医学博士 関谷剛)
- ・甲府支部設立10周年に寄せて
- ・3年ぶりの奥伝会

2月号(564号)

- ・あおぞら自彊術～心をひとつに前向きに～(京都府支部)
- ・初伝免状 令和5年1月1日附(111名)

3月号(565号)

- ・横浜支部地方特別研修会
- ・地域イベント実施(宮城県北支部)

(2) 「リーフレット」の配布状況

リーフレットには、「自彊術」の歴史と効能・地域ごとの開催場所や主宰者名が記載されている。14,001部の配布となった。

(3) 「自彊術の葉」の配布状況

葉には、「カリキュラム」「自彊術の心得」とともに、入会に必要な事項が記載されている。3,604部の配布となった。

(4) 「公益法人化 10 周年記念誌」の発行

コロナ禍による本会財政状況への影響が予測困難であることから発行を中止した。

3. web による情報の公開(定款第 4 条第 1 項(3))

公益法人に要求される情報公開への対応及び社会への普及啓発のために、ホームページのタイムリーな更新や、動画の掲出等更なる充実を図っている。

4. 公開講演会の実施(定款第 4 条第 1 項(4))

会員の啓発及び一般の方々への自彊術啓発を目的として、6 月に講演会を企画したが、コロナ禍の影響で、実施を断念した。

5. 周年記念行事の実施(定款第 4 条第 1 項(4))

(1) 支部周年行事

- ・ 20 周年 山形県支部
- ・ 10 周年 甲府支部 豊川支部

(2) 20 年継続者表彰 1,662 名

6. 海外文化交流の実施(定款第 4 条第 1 項(4))

世界情勢に鑑み、指導者の派遣などの積極的な海外文化交流事業は下記(1)(2)を除き当分控えることとした。

(1) ワシントン教室

本部研修in熱海等の研修会参加のため 2 名が来日。

(2) 台湾教室

予定していた月 1 回の講師派遣は中止となったが、現地指導者による教室を実施した。

7. 近藤芳朗記念館における展示(定款第 4 条第 1 項(3))

自彊術体操の誕生・発展・衰退、そしてその復興の歴史に関する資料の収集と展示を通じて自彊術の技術的精神的優秀性を啓発することを目的とする。

- ・ 事務局就業時間中、一般の方も常時見学ができる。(要予約)
- ・ 入館料は無料
- ・ 本年度入館者数 100 名

Ⅲ 【その他】

1. 会議(定款第3章以下及び4章以下)

(1) **総会**・・・・・・・・・・ ○決算総会 令和4年6月15日 京王プラザホテル(東京都新宿区)
議題：令和3年度事業報告・収支決算報告の承認及び監査報告

○予算総会 令和5年3月1日 北とぴあ (東京都北区)
議題：令和5年度事業計画の承認
令和5年度収支予算の承認

(2) **理事会**・・・・・・・・・・ ○決算理事会 令和4年5月18日 本部第二道場
議題：令和3年度事業報告・収支決算報告の承認及び監査報告
決算総会招集及び提出議案の決定ほか

○予算理事会 令和5年2月7日 本部第二道場
議題：令和5年度事業計画の承認
令和5年度収支予算の承認
予算総会招集及び提出議案の決定ほか

(3) **支部主催会議**・・・・・・ 随時
本部よりの通達事項の遵守を目的に随時開催された。

2. 見舞金・義援金募金活動の実施

令和4年度も本会「災害対応拠出金口座」には、全国の会員から総額約181万円(令和3年度繰越金44万円を含む)のご厚志が寄せられた。心より感謝とお礼を申し上げたい。

今年度は、豪雨災害(線状降水帯・台風)や地震が頻発するなど、被災地では困難な状況が続き、忍耐強さと寄り添い支えあう力が求められる一年であった。会員を対象とした見舞金は「2022年3月16日福島・宮城沖地震」の被災者の方々86名に86万円を配賦させていただいた。

一方、海外では2023年2月6日にトルコ・シリアの国境付近でマグニチュード7.5と7.8の大きな地震が2度に渡り発生し、死者数52,000人以上、被災者数2,000万人以上という甚大な被害が報告された。

執行理事会では、イラン・イラク戦争時の邦人救出や東日本大震災の救援活動でお世話になった、親日国トルコに「恩返しをしたい」という思いから、被災地に義援金を送ることを決定した。尚、支援先組織の選定に際しては、活動内容や過去の実績、現地での活動状況、寄付金の使い道の情報公開等を勘案し、日本ユニセフ協会と日本赤十字社の2団体にトルコ・シリア大地震災害義援金として、合わせて約95万円を配賦した。

3. マスコミに取り上げられた自彊術

本部

- ・classA 薬局の健康情報誌「Life11 月号」に、自彊術体操の特集記事を掲載。全 31 動作の中から“これぞ自彊術”という動作を厳選して、体操のポイントとその効能をイラストを使って解説。調剤薬局にきた全国のお客様に無料で 10,000 部を配布。

山形県支部

- ・町内会報「しんえまた」（新江俣町）（2023 年 1 月 15 日発行）
新江俣自彊術サークルと「20 年継続記念の盾」の紹介

大宮支部

- ・埼東よみうり（5 月 20 日）
自彊術サークル「自彊術久喜」の紹介
- ・エール 2022 年夏号（シニア向け雑誌・一般社団法人百歳万歳）（7 月号）
青五松寿会自彊術の紹介
- ・ケーブルテレビ久喜 「く・わ・し・く彩たま」（9 月 12 日～14 日放送）

板橋支部

- ・致知（人間学を学ぶ月刊誌）「読者の集い」欄（2023 年 3 月号）
所沢木鶏クラブの紹介

立川朝日支部

- ・東京ベイネットワーク（株）（2023 年 1 月 9 日放送）
「60 歳からのゆうゆう講座自彊術体操」
- ・ASA だより（朝日新聞ミニコミ誌）（10 月号）
- ・「広報ひの」「みんなのメモ帳」欄（10 月号）

春日部南支部

- ・草加八潮医師会誌 「私と健康」欄（9 月 第 100 号）

静岡県支部

- ・シティエフエム静岡 「ゆうラジ！RADIO 魂（ソウル）」（11 月 23 日放送）
- ・YouTube Yahoo！JAPAN クリエイターズプログラム 「富士宮市」（7 月 5 日）
くれいどる芝楽教室の紹介

滋賀県支部

- ・びわ湖放送 「アミンチュ淡海人」（4 月 5 日放送）

京都洛中支部

- ・KBS 京都テレビ「笑福亭晃瓶のほっかほっかラジオ」（2023 年 2 月 23 日放送）

令和 4 年度事業報告 附属明細書

令和 4 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行細則」第 34 条 3 項に規程する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和 5 年 5 月 17 日
公益社団法人 自彊術普及会

「国と特に密接な関係がある」公益法人への該当性について（報告）

「当法人は、国家公務員法等の規定に関し、国家公務員であった者が法人の役員として再就職する場合に事前に政府に届出を行うことが必要な「国と特に密接な関係がある法人」に該当しません。」旨の報告を、内閣官房内閣人事局内閣参事官（退職管理担当）宛に致しました。

平成 30 年 10 月 22 日
公益社団法人 自彊術普及会

令和4年度 決算報告書

令和4年度 貸借対照表

令和5年3月31日現在

公益社団法人 自彊術普及会

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	169,105,604	171,361,748	-2,256,144
未収金	600,421	304,510	295,911
前払金	0	3,300,000	-3,300,000
前払費用	1,008,269	861,243	147,026
流動資産合計	170,714,294	175,827,501	-5,113,207
2 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	30,105,000	30,105,000	0
基本財産合計	30,105,000	30,105,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	25,000,000	25,000,000	0
減価償却引当資産	57,000,000	107,000,000	-50,000,000
新自彊術会館建設積立資産	204,000,000	149,000,000	55,000,000
特定資産合計	286,000,000	281,000,000	5,000,000
(3) その他固定資産			
建物	350,709,492	350,709,492	0
建物附属設備	17,097,820	17,097,820	0
構築物	1,053,982	1,053,982	0
什器備品	10,955,767	10,955,767	0
土地	267,724,687	267,724,687	0
減価償却累計額	-166,386,836	-157,766,044	-8,620,792
電話加入権	72,800	72,800	0
商標権	1,965,295	1,965,295	0
ソフトウェア	6,600,000	0	6,600,000
保証金	20,000	20,000	0
その他固定資産合計	489,813,007	491,833,799	-2,020,792
固定資産合計	805,918,007	802,938,799	2,979,208
資産合計	976,632,301	978,766,300	-2,133,999

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
Ⅱ 負債の部			
1 流動負債			
未払金	3,178,101	2,611,582	566,519
前受会費	41,770,500	40,083,000	1,687,500
預り金	718,099	1,158,581	-440,482
流動負債合計	45,666,700	43,853,163	1,813,537
2 固定負債			
役員退職慰労引当金	29,215,500	27,517,500	1,698,000
退職給付引当金	2,757,814	2,542,716	215,098
固定負債合計	31,973,314	30,060,216	1,913,098
負債合計	77,640,014	73,913,379	3,726,635
Ⅲ 正味財産の部			
1 指定正味財産			
寄付金	30,000,000	30,000,000	0
指定正味財産合計	30,000,000	30,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(30,000,000)	(30,000,000)	(0)
2 一般正味財産			
一般正味財産	868,992,287	874,852,921	-5,860,634
一般正味財産合計	868,992,287	874,852,921	-5,860,634
(うち基本財産への充当額)	(105,000)	(105,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(261,000,000)	(256,000,000)	(5,000,000)
正味財産合計	898,992,287	904,852,921	-5,860,634
負債及び正味財産合計	976,632,301	978,766,300	-2,133,999

令和4年度 正味財産増減計算書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

公益社団法人 自彊術普及会

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	120,000	120,000	0
② 特定資産運用益	5,618	5,418	200
③ 受取会費	144,327,000	151,047,000	-6,720,000
正会員受取会費	6,190,000	6,400,000	-210,000
賛助会員受取会費	138,137,000	144,647,000	-6,510,000
④ 事業収益	61,031,825	34,407,251	26,624,574
講習会等実施事業収益	8,998,325	5,952,951	3,045,374
指導者養成事業収益	42,573,500	21,122,800	21,450,700
資格等授与事業収益	9,460,000	7,331,500	2,128,500
⑤ 受取寄付金	300,000	250,000	50,000
受取寄付金	300,000	250,000	50,000
⑥ 雑収益	8,245	213,868	-205,623
受取利息	245	268	-23
その他雑収益	8,000	213,600	-205,600
経常収益計	205,792,688	186,043,537	19,749,151
(2) 経常費用			
① 事業費	184,141,083	150,433,105	33,707,978
役員報酬	24,541,680	24,652,080	-110,400
給料手当	23,348,443	24,142,442	-793,999
臨時雇賃金	3,441,275	3,416,075	25,200
報酬謝金	22,456,900	14,071,900	8,385,000
役員退職慰労引当金繰入額	1,227,084	872,798	354,286
退職給付費用	159,981	173,047	-13,066
退職給付金	300,000	980,000	-680,000
法定福利費	2,881,846	2,076,378	805,468
会議費	4,796,838	2,935,648	1,861,190
会場費	257,429	207,835	49,594
研修会場費	10,718,430	4,128,182	6,590,248
旅費交通費	12,851,449	7,954,514	4,896,935
通信運搬費	9,505,493	9,645,896	-140,403
減価償却費	7,860,994	7,057,445	803,549
消耗品費	12,437,424	6,798,232	5,639,192
修繕費	997,700	1,099,494	-101,794
印刷製本費	11,438,906	8,952,260	2,486,646
渉外費	519,139	305,586	213,553
光熱水料費	1,583,360	1,296,739	286,621
リース料	431,957	431,957	0
保険料	367,124	363,300	3,824
諸謝金	693,959	625,000	68,959
租税公課	4,134,840	431,831	3,703,009
インターネット費	37,708	15,312	22,396
支払手数料	365,701	269,664	96,037
委託費	3,472,000	3,601,800	-129,800
事務委託費	21,623,100	22,297,300	-674,200

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
雑費	1,690,323	1,630,390	59,933
② 管理費	27,512,239	28,512,466	-1,000,227
役員報酬	9,938,320	10,127,920	-189,600
給料手当	3,009,292	3,830,625	-821,333
役員退職慰労引当金繰入額	470,916	394,702	76,214
退職給付費用	55,117	69,913	-14,796
退職給付金	0	400,000	-400,000
法定福利費	1,449,055	2,417,774	-968,719
福利厚生費	377,506	430,440	-52,934
会議費	413,079	407,578	5,501
会場費	1,345,860	790,570	555,290
旅費交通費	1,394,566	1,023,984	370,582
通勤費	614,400	651,570	-37,170
通信運搬費	1,069,784	1,075,610	-5,826
減価償却費	759,798	817,521	-57,723
什器備品費	103,680	0	103,680
消耗品費	339,572	204,121	135,451
修繕費	167,420	51,700	115,720
印刷製本費	331,768	322,056	9,712
渉外費	312,184	381,440	-69,256
光熱水料費	527,508	456,201	71,307
リース料	91,627	91,627	0
保険料	24,680	24,680	0
諸謝金	87,660	73,040	14,620
租税公課	673,620	227,374	446,246
支払寄付金	2,000	32,000	-30,000
支払手数料	92,102	76,011	16,091
委託費	2,890,800	3,233,967	-343,167
雑費	969,925	900,042	69,883
経常費用計	211,653,322	178,945,571	32,707,751
当期経常増減額	-5,860,634	7,097,966	-12,958,600
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	-5,860,634	7,097,966	-12,958,600
一般正味財産期首残高	874,852,921	867,754,955	7,097,966
一般正味財産期末残高	868,992,287	874,852,921	-5,860,634
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	30,000,000	30,000,000	0
指定正味財産期末残高	30,000,000	30,000,000	0
III 正味財産期末残高	898,992,287	904,852,921	-5,860,634

令和4年度 正味財産増減計算書内訳表

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

公益社団法人 自彊術普及会

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計				法人会計	合 計
	普及促進事業 (公 1)	普及啓発事業 (公 2)	共 通	小 計		
I 一般正味財産増減の部						
1 経常増減の部						
(1) 経常収益						
①基本財産運用益	0	0	120,000	120,000	0	120,000
②特定資産運用益	0	0	5,618	5,618	0	5,618
③受取会費	0	0	72,163,500	72,163,500	72,163,500	144,327,000
正会員受取会費	0	0	3,095,000	3,095,000	3,095,000	6,190,000
賛助会員受取会費	0	0	69,068,500	69,068,500	69,068,500	138,137,000
④事業収益	61,031,825	0	0	61,031,825	0	61,031,825
講習会等実施事業収益	8,998,325	0	0	8,998,325	0	8,998,325
指導者養成事業収益	42,573,500	0	0	42,573,500	0	42,573,500
資格等授与事業収益	9,460,000	0	0	9,460,000	0	9,460,000
⑤受取寄付金	0	0	300,000	300,000	0	300,000
受取寄付金	0	0	300,000	300,000	0	300,000
⑥雑収益	8,000	0	245	8,245	0	8,245
受取利息	0	0	245	245	0	245
雑収益	8,000	0	0	8,000	0	8,000
経常収益計	61,039,825	0	72,589,363	133,629,188	72,163,500	205,792,688
(2) 経常費用						
①事業費	128,885,882	55,255,201	0	184,141,083	0	184,141,083
役員報酬	17,672,520	6,869,160		24,541,680		24,541,680
給料手当	19,517,629	3,830,814		23,348,443		23,348,443
臨時雇賃金	3,441,275	0		3,441,275		3,441,275
報酬謝金	22,456,900	0		22,456,900		22,456,900
役員退職慰労引当金繰入額	883,626	343,458		1,227,084		1,227,084
退職給付費用	135,295	24,686		159,981		159,981
退職給付金	300,000	0		300,000		300,000
法定福利費	2,206,760	675,086		2,881,846		2,881,846
会議費	4,776,131	20,707		4,796,838		4,796,838
会場費	0	257,429		257,429		257,429
研修会場費	10,718,430	0		10,718,430		10,718,430
旅費交通費	12,162,029	689,420		12,851,449		12,851,449
通信運搬費	2,892,966	6,612,527		9,505,493		9,505,493
減価償却費	6,687,582	1,173,412		7,860,994		7,860,994
消耗品費	11,233,481	1,203,943		12,437,424		12,437,424
修繕費	988,900	8,800		997,700		997,700
印刷製本費	1,684,106	9,754,800		11,438,906		11,438,906
渉外費	439,355	79,784		519,139		519,139
光熱水料費	1,357,285	226,075		1,583,360		1,583,360
リース料	296,349	135,608		431,957		431,957
保険料	319,217	47,907		367,124		367,124

科 目	公益目的事業会計				法人会計	合 計
	普及促進事業 (公 1)	普及啓発事業 (公 2)	共 通	小 計		
諸謝金	20,000	673,959		693,959		693,959
租税公課	3,189,218	945,622		4,134,840		4,134,840
インターネット費	0	37,708		37,708		37,708
支払手数料	357,855	7,846		365,701		365,701
委託費	2,812,000	660,000		3,472,000		3,472,000
事務委託費	884,250	20,738,850		21,623,100		21,623,100
雑費	1,452,723	237,600		1,690,323		1,690,323
②管理費	0	0	0	0	27,512,239	27,512,239
役員報酬					9,938,320	9,938,320
給料手当					3,009,292	3,009,292
役員退職慰労引当金繰入額					470,916	470,916
退職給付費用					55,117	55,117
法定福利費					1,449,055	1,449,055
福利厚生費					377,506	377,506
会議費					413,079	413,079
会場費					1,345,860	1,345,860
旅費交通費					1,394,566	1,394,566
通勤費					614,400	614,400
通信運搬費					1,069,784	1,069,784
減価償却費					759,798	759,798
什器備品費					103,680	103,680
消耗品費					339,572	339,572
修繕費					167,420	167,420
印刷製本費					331,768	331,768
渉外費					312,184	312,184
光熱水料費					527,508	527,508
リース料					91,627	91,627
保険料					24,680	24,680
諸謝金					87,660	87,660
租税公課					673,620	673,620
支払寄付金					2,000	2,000
支払手数料					92,102	92,102
委託費					2,890,800	2,890,800
雑費					969,925	969,925
経常費用計	128,885,882	55,255,201	0	184,141,083	27,512,239	211,653,322
当期経常増減額	-67,846,057	-55,255,201	72,589,363	-50,511,895	44,651,261	-5,860,634
2 経常外増減の部						
(1)経常外収益						
経常外収益計	0	0	0	0	0	0
(2)経常外費用						
経常外費用計	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	-67,846,057	-55,255,201	72,589,363	-50,511,895	44,651,261	-5,860,634
他会計振替額	0	0	50,511,895	50,511,895	-50,511,895	0

科 目	公益目的事業会計				法人会計	合 計
	普及促進事業 (公 1)	普及啓発事業 (公 2)	共 通	小 計		
当期一般正味財産増減額	-67,846,057	-55,255,201	123,101,258	0	-5,860,634	-5,860,634
一般正味財産期首残高				509,375,617	365,477,304	874,852,921
一般正味財産期末残高				509,375,617	359,616,670	868,992,287
Ⅱ 指定正味財産増減の部						
当期指定正味財産増減額				0	0	0
指定正味財産期首残高				30,000,000	0	30,000,000
指定正味財産期末残高				30,000,000	0	30,000,000
Ⅲ 正味財産期末残高				539,375,617	359,616,670	898,992,287

令和4年度 財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 投資有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券について、償却原価法は重要性が乏しいため採用していない。

(2) 固定資産の減価償却方法

① 有形固定資産

建物については、定額法によっている。

建物附属設備、構築物については、定額法及び定率法によっている。

什器備品については、定率法によっている。

② 無形固定資産

定額法によっている。

(3) 役員退職慰労引当金の計上基準

役員の退職慰労金の支払いに充てるため規定に基づく期末要支給額を計上している。

(4) 退職給付引当金の計上基準

職員に対する退職金の支払いに備えるため規定に基づく期末要支給額を計上している。

(5) 消費税等の会計処理

税込方式によっている。

2 基本財産及び特定資産の増減額とその残高

基本財産及び特定資産の増減額とその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	30,105,000	0	0	30,105,000
小計	30,105,000	0	0	30,105,000
特定資産				
退職給付引当資産	25,000,000	0	0	25,000,000
減価償却引当資産	107,000,000	0	50,000,000	57,000,000
新自彊術会館建設積立資産	149,000,000	55,000,000	0	204,000,000
小計	281,000,000	55,000,000	50,000,000	286,000,000
合 計	311,105,000	55,000,000	50,000,000	316,105,000

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当)	(うち一般正味財産からの充当)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
投資有価証券	30,105,000	(30,000,000)	(105,000)	(-)
小計	30,105,000	(30,000,000)	(105,000)	(-)
特定資産				
退職給付引当資産	25,000,000	(-)	(-)	(25,000,000)
減価償却引当資産	57,000,000	(-)	(57,000,000)	(-)
新自彊術会館建設積立資産	204,000,000	(-)	(204,000,000)	(-)
小計	286,000,000	(-)	(261,000,000)	(25,000,000)
合 計	316,105,000	(30,000,000)	(261,105,000)	(25,000,000)

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額および当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額および当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	350,709,492	139,842,196	210,867,296
建物附属設備	17,097,820	13,512,680	3,585,140
構築物	1,053,982	917,533	136,449
什器備品	10,955,767	9,049,132	1,906,635
商標権	1,965,295	1,965,295	0
ソフトウェア	6,600,000	1,100,000	5,500,000
合 計	388,382,356	166,386,836	221,995,520

5 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価格、時価および評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価格、時価および評価損益は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	帳簿価格	時価	評価損益
第339回利付国債(10年)	30,105,000	30,318,000	213,000
合 計	30,105,000	30,318,000	213,000

6 支部組織の会計の合計

平成20年度より支部組織の会計を合計表示している。

支部が独立した会計単位となっていないため本部が支部からの会計資料を基礎にして決算を行い、本部会計と合計している。

7 引当金の明細

(単位:円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
役員退職慰労引当金	27,517,500	1,698,000	0	0	29,215,500
退職給付引当金	2,542,716	215,098	0	0	2,757,814

令和4年度 財産目録

令和5年3月31日現在

公益社団法人 自彊術普及会

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	現金	・手元保管(本部) ・手元保管(各支部・55口)	運転資金として 運転資金として	377,122 5,334,291
			＜現金計＞	5,711,413
	預金	・城北信用金庫駒込支店	運転資金として	38,819,518
		・三菱UFJ銀行駒込支店	運転資金として	522,890
		・ゆうちょ銀行中里郵便局	運転資金として	313,378
		・ゆうちょ銀行支部口座(55口)	運転資金として	106,763,473
			＜普通預金計＞	146,419,259
		・ゆうちょ銀行中里郵便局	運転資金として (26471)	16,974,932
		・ゆうちょ銀行中里郵便局	災害支援金口座として (417841)	0
			＜振替預金計＞	16,974,932
	未収金	・講師料等の未収額	普及促進事業に供する講師料等の未収分	600,421
	前払費用	・火災保険料等前払費用額	公益目的事業及び管理業務の用に供する前払費用	1,008,269
			＜その他計＞	1,608,690
流動資産合計				170,714,294
(固定資産)				
基本財産	投資有価証券	・第339回利付国債	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用している。	30,105,000
			＜基本財産計＞	30,105,000
特定資産	退職給付引当資産	・定期預金	負債(退職引当金)に対応して引当された資産	15,000,000
		・普通預金 三菱UFJ銀行駒込支店	負債(退職引当金)に対応して引当された資産	10,000,000
	減価償却引当資産	・定期預金 三菱UFJ銀行駒込支店	減価償却累計額に対応して引当された資産	57,000,000
	新自彊術会館建設積立資産	・定期預金 三菱UFJ銀行駒込支店	資産取得資金であり、新自彊術会館建設目的のために積立られた資産	204,000,000
			＜特定資産計＞	286,000,000
その他固定資産	建物	・会館 北区中里二丁目14-1	公益目的事業及び管理業務の用に供しており、共用割合は66%:34%である。	31,329,508
	建物	・本部道場 北区中里二丁目12-3	公益目的事業の用に100%供している。	121,379,505
	建物(工事)	・資料館及び会館内装工事 北区中里二丁目14-1	公益目的事業及び管理業務の用に供しており、共用割合は82%:18%である。	9,250,690
	建物	・第二道場 北区中里二丁目14-3	公益目的事業の用に100%供している。	38,113,112
	建物(改修工事)	・資料館及び事務所の改修工事 北区中里二丁目14-1	公益目的事業及び管理業務の用に供しており、共用割合は31%:69%である。	4,787,152
	建物(補修工事)	・本部道場の外部補修工事 北区中里二丁目12-3	公益目的事業の用に100%供している。	6,007,329
			＜建物計＞	210,867,296
	建物附属設備	・会館の空調・電気・昇降 設置工事 ・本部道場・会館の看板交換 工事 ・第二道場の電気・ガス・ 給排水・冷暖房等設備工事	公益目的事業及び管理業務の用に供しており、共用割合は50%:50% 公益目的事業及び管理業務の用に供しており、共用割合は76%:24% 公益目的事業の用に100%供している。	2 2 677,826

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
		・会館2F設備・電気・照明工事	管理業務の用に100%供している。	1,125,306
		・会館3F電気工事・ミニキッチン等	公益目的事業の用に100%供している。	96,133
		・本部道場空調機オーバーホール	公益目的事業の用に100%供している。	564,975
		・本部道場地下倉庫棚設置工事	管理業務の用に100%供している。	134,046
		・本部道場空調機オーバーホール追加工	公益目的事業の用に100%供している。	986,850
	構築物		＜建物附属設備計＞	3,585,140
		・第二道場の舗装・排水工事、 ネットフェンス・電動門扉	公益目的事業の用に100%供している。	136,449
	什器備品		＜構築物計＞	136,449
		・家具	公益目的事業、管理業務の共用割合22%:78%	22,819
		・コンピューターサーバー	公益目的事業の用に100%供している。	501,214
		・組込金庫	公益目的事業、管理業務の共用割合22%:78%	32,593
		・第二道場の電話設備・共同 視聴装置	公益目的事業の用に100%供している。	1
		・第二道場のインターフォン 設備工事	公益目的事業の用に100%供している。	1
		・絵画	管理業務の用に100%供している。	1,350,000
		・会館2Fエアコン・ブラインド	管理業務の用に100%供している。	2
		・会館1Fエアコン	公益目的事業の用に100%供している。	1
		・会館3Fエアコン・換気扇	公益目的事業の用に100%供している。	1
		・会館3F事務机・応接セット	管理業務の用に100%供している。	2
		・AED 2台	公益目的事業の用に100%供している。	1
			＜什器備品計＞	1,906,635
	土地	・95.70㎡(会館)	公益目的事業及び管理業務の用に供しており、 共用割合は66%:34%である。	66,453,187
	土地	・131.23㎡(本部道場)		
	土地	・116.68㎡(第二道場)		
		北区中里二丁目14-3	公益目的事業の用に100%供している。	91,861,500
			＜土地計＞	267,724,687
	商標権	・自彊術に関する日本・中国・ 台湾の商標権	公益目的事業の用に100%供している。	0
	ソフトウェア	・教場管理システム	公益目的事業の用に100%供している。	5,500,000
	電話加入権	・電話加入権	公益目的事業の用に100%供している。	72,800
	保証金	・警備保障会社契約保証金	管理業務の用に100%供している。	20,000
			＜その他計＞	5,592,800
固定資産合計				805,918,007
資産合計				976,632,301
(流動負債)	未払金	・アーク印刷	月刊機関紙印刷代等の未払額	1,358,566
		・郵便事業	3月分後納郵便代	52,709
		・北社会保険事務所	3月分厚生年金保険料他	293,314
		・本部カルチャー講師	3月分講師料	1,020,510
		・研修会講師	3月分講師料	453,002
	前受会費		＜未払金＞	3,178,101
		・賛助会費	令和5年度賛助会費の前受会費	32,662,500
		・研修会費	令和5年度本部研修会in熱海の研修会費	3,234,000
		・研修会費	令和5年度本部道場研修会費	5,874,000
			＜前受会費＞	41,770,500

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
	預り金	・王子税務署 ・ 〃 ・豊島区役所他 ・雇用保険料	3月分 給与分源泉所得税 3月分 204条源泉所得税 3月分 住民税 ＜預り金＞	376,617 13,273 250,900 77,309 718,099
流動負債合計				45,666,700
(固定負債)	役員退職慰労引当金	・役員退職慰労引当金	常勤役員の退職慰労金の引当金 ＜役員退職慰労引当金＞	29,215,500 29,215,500
	退職給付引当金	・退職給付引当金	職員退職金の引当金 ＜退職給付引当金＞	2,757,814 2,757,814
固定負債合計				31,973,314
負債合計				77,640,014
正味財産				898,992,287

監査報告書

令和 5 年 5 月 11 日

公益社団法人 自彊術普及会
代表理事 久保 穎子 殿

監 事 平野 晶己



私は、令和 4 年 4 月 1 日から令和 5 年 3 月 31 日までの令和 4 年度における会計および業務の監査を行い、次のとおり報告する。

1 監査の方法の概要

- (1) 会計監査について、帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて計算書類の正確性を検討した。
- (2) 業務監査について理事からの報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて業務執行の妥当性を検討した。

2 監査意見

- (1) 貸借対照表、正味財産増減計算書及び正味財産増減計算書内訳表並びに財産目録は、会計帳簿の金額と一致し、法人の収支状況及び財政状態を正しく示していると認める。
- (2) 事業報告書の内容は真実であると認める。
- (3) 理事の職務執行に関する不正の行為または法令もしくは定款に違反する重大な事実はないと認める。

以上